

平成20年3月期 第3四半期財務・業績の概況

平成20年2月1日

上場会社名 **ダイセル化学工業株式会社** 上場取引所 東証一部・大証一部
 コード番号 4202 URL <http://www.daicel.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小川 大介
 問合せ先責任者 (役職名) IR広報グループ (氏名) 畑 理史 T E L (03) 6711-8121
 リーダー

(百万円未満切捨て)

1. 平成20年3月期第3四半期の連結業績 (平成19年4月1日～平成19年12月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年3月期第3四半期	308,450	9.6	25,759	△7.4	23,984	△9.8	12,099	△9.9
19年3月期第3四半期	281,426	15.0	27,811	13.1	26,598	10.8	13,428	9.8
19年3月期	381,422		36,398		34,734		17,438	

	1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
20年3月期第3四半期	33	45	—	
19年3月期第3四半期	37	10	—	
19年3月期	48	19	—	

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円	銭	
20年3月期第3四半期	546,471		249,347		40.4	612	64	
19年3月期第3四半期	547,469		237,981		38.6	584	24	
19年3月期	547,431		242,409		39.5	596	88	

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー		投資活動によるキャッシュ・フロー		財務活動によるキャッシュ・フロー		現金及び現金同等物期末残高	
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
20年3月期第3四半期	27,368	△29,001	11,504		23,846			
19年3月期第3四半期	9,446	△43,208	37,473		18,868			
19年3月期	25,534	△54,183	26,948		13,958			

2. 平成20年3月期の連結業績予想(平成19年4月1日～平成20年3月31日)

前回公表の通期の業績予想の見直しは行っておりません。

3. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結の範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
 (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 無
 (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 有
 (注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 3.その他をご覧ください。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

連結業績予想は、現時点で入手された情報に基づき判断したものであり、実際の業績は、様々な要因により、これらの業績予想とは異なることがありうることをご承知おき下さい。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第 3 四半期までのわが国経済は、緩やかな回復基調が続きましたものの、原油をはじめとする素材価格の高騰や、米国のサブプライム問題に起因する世界経済への不安、為替の急激な変動など、先行きに不透明感も出てきており、楽観を許さない状況のうちに推移いたしました。

このような環境の中、当第 3 四半期までの当社グループの連結業績は、売上高3,084億50百万円（前年同期比9.6%増）、営業利益257億59百万円（前年同期比7.4%減）、経常利益239億84百万円（前年同期比9.8%減）、純利益120億99百万円（前年同期比9.9%減）となりました。主な減益要因は、減価償却制度の変更による固定費の増加や、原燃料価格が高水準で推移したこと、主力工場である当社姫路製造所網干工場の2年に1度の定期修繕を計画どおり当期中に実施したこと等であります。

なお、大阪府道高速大和川線事業に伴い一部敷地等が収用される当社大阪製造所堺工場の移転先である当社大竹工場で取得した代替設備に対して直接減額の処理を行い、「固定資産圧縮損」16,900百万円を計上するとともに、「圧縮記帳特別勘定」を同額取り崩し「圧縮記帳特別勘定取崩益」を計上しております。これらの特別損益の発生につきましては通期の業績予想に織り込み済みであります。

事業部門別の状況は次のとおりです。

[セルロース事業部門]

酢酸セルロースは、主として原燃料価格の上昇に伴う販売価格の是正により、売上高は増加いたしました。

たばこフィルター用トウは、国内たばこ需要は漸減傾向にありますものの、大手たばこメーカーの拠点を始め海外における旺盛な需要と当社大竹工場の新設備稼働による販売数量の増加に加え、販売価格是正や為替の影響もあって、売上高は増加いたしました。

WSP（水溶性高分子）は、国内における医薬・化粧品用途向けなどの販売が好調に推移いたしましたものの、海外における化粧品用途向けなどの販売減により、売上高は減少いたしました。

当部門の売上高は、529億92百万円（前年同期比12.1%増）、営業利益は、67億61百万円（前年同期比21.4%減）となりました。

[有機合成事業部門]

主力製品の酢酸は、販売価格の改定を実施したことにより、売上高は増加いたしました。

酢酸誘導体及び各種溶剤類などの汎用品は、堅調な国内需要に支えられ、原料高を背景に販売価格の是正を実施したことにより、売上高は増加いたしました。

カプロラクトン誘導体やエポキシ化合物、半導体レジスト材料などの機能品は、エポキシ化合物の販売増や全般的な販売価格是正により、売上高は増加いたしました。

光学異性体分離カラム、医薬中間体などのキラルケミカル（光学活性体）事業は、一部製品の需要が減少いたしましたものの、カラムの販売及び受託分離が好調に推移したことにより、売上高は増加いたしました。

当部門の売上高は、743億29百万円（前年同期比7.7%増）、営業利益は、79億35百万円（前年同期比2.3%増）となりました。

[合成樹脂事業部門]

ポリアセタール樹脂、PBT樹脂などのエンジニアリングプラスチックは、自動車分野や電子デバイス分野向けの需要が堅調で、原燃料価格の上昇に伴う販売価格是正も寄与して、売上高は増加いたしました。

AS・ABS樹脂、エンブラアロイ樹脂を中心とした樹脂コンパウンド事業は、長繊維強化樹脂をはじめとする高付加価値品の拡販や、原料高を背景とした全般的な販売価格是正が寄与して、売上高は増加いたしました。

シート事業は、大手食品容器メーカー向けの拡販や、販売価格是正により、売上高は増加いたしました。

成形容器、緩衝材などの製品事業は、厳しい市場競争が続く中、高付加価値製品の販売及び販売価格の是正に注力いたしました。売上高は減少いたしました。

フィルム事業は、主力製品であるバリアフィルムの拡販は進んでおりますものの、一部用途における製品在庫調整の影響により、売上高は減少いたしました。

その他の樹脂加工事業は、平成19年12月26日付で連結子会社大日本プラスチック株式会社が同子会社シーダム株式会社の全株式を倉敷紡績株式会社に譲渡したことに伴い、当第3四半期よりシーダム株式会社を当社の連結対象から除外したことなどにより、売上高は減少いたしました。

当部門の売上高は、1,288億27百万円（前年同期比7.1%増）、営業利益は、124億80百万円（前年同期比3.9%増）となりました。

[火工品事業部門]

自動車のエアバッグ用インフレーター（ガス発生装置）は、国内自動車生産台数が前年同期比微増で推移する中、特に側突系エアバッグの標準装備化に伴う販売数量の大幅な増加に加え、海外市場における販売も好調で、売上高は大幅に増加いたしました。

発射薬、ミサイル構成部品、航空機搭乗員緊急脱出装置関連製品などの特機事業は、一部製品の販売数量が増加したことにより、売上高は増加いたしました。

当部門の売上高は、473億66百万円（前年同期比18.0%増）、営業利益は、41億10百万円（前年同期比11.8%減）となりました。

[その他事業部門]

水処理用分離膜モジュールなどのメンブレン事業は、主に排水処理用途向けの販売が好調で、売上高は増加いたしました。

その他新規機能性材料は、電子情報材料分野向けの販売増加により、売上高は増加いたしました。

当部門の売上高は、49億33百万円（前年同期比5.0%増）、営業利益は、3億60百万円（前年同期比42.0%減）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

総資産は、収用に伴い有形固定資産を直接減額したことなどにより、前期末に比し9億60百万円減少し、5,464億71百万円となりました。

負債は、圧縮記帳特別勘定の取崩しなどにより、前期末に比し78億98百万円減少し、2,971億24百万円となりました。

また、純資産は、2,493億47百万円となりました。純資産から少数株主持分を引いた自己資本は、2,210億24百万円となり、自己資本比率は40.4%となりました。

(2) 当第3四半期（平成19年4月1日～平成19年12月31日）のキャッシュ・フローの状況

営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動による資金の増加は、273億68百万円（前年同期比189.7%増）となりました。前年同期との差の要因は、主として運転資金の圧縮によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動による資金の減少は、290億1百万円（前年同期比32.9%減）となりました。前年同期との差の要因は、主として有形固定資産の取得に伴う支出の減少によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動による資金の増加は、115億4百万円（前年同期比69.3%減）となりました。前年同期との差の要因は、主として借入による収入の減少であります。

以上の結果、当第3四半期末における現金及び現金同等物は、前期末に比し98億88百万円増加し、238億46百万円となりました。

3. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

該当事項はありません。

(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更

国内連結子会社の役員退職慰労金は、従来支出時の費用として処理しておりましたが、監査・保証実務委員会報告第42号「租税特別措置法上の準備金及び特別法上の引当金又は準備金並びに役員退職慰労引当金等に関する監査上の取扱い」の公表（平成19年4月13日）を受け、当第3四半期連結会計期間より役員退職慰労金規程に基づく第3四半期末要支給額を役員退職慰労引当金として計上することに変更しました。この結果、従来の方法を採用した場合と比べ、営業利益は21百万円減少し、税金等調整前四半期純利益が162百万円減少しております。

なお、連結子会社1社の役員退職慰労金については、前第3四半期連結会計期間は、支出時の費用として処理しておりましたが、前連結会計年度の下期において役員退職慰労金規程に基づく期末要支給額を役員退職慰労引当金として計上する方法に変更しております。

4. (要約) 四半期連結財務諸表

(1) (要約) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前年第 3 四半期 (平成18年12月31日)	当第 3 四半期 (平成19年12月31日)	前連結会計年度 (平成19年 3 月 31 日)	増 減 (△) (対平成19年 3 月 31 日)
科目	金額	金額	金額	金額
(資産の部)				
I 流動資産	(205, 640)	(222, 737)	(206, 670)	(16, 067)
現金及び預金	18, 868	23, 856	13, 388	10, 468
受取手形及び売掛金	97, 042	99, 888	98, 434	1, 454
有価証券	24	30	609	△579
たな卸資産	74, 564	76, 356	75, 621	735
収用に係る未収入金	918	5, 363	918	4, 445
その他	14, 453	17, 482	17, 926	△444
貸倒引当金	△231	△240	△229	△11
II 固定資産	(341, 828)	(323, 734)	(340, 761)	(△17, 027)
1. 有形固定資産	(224, 583)	(221, 004)	(225, 512)	(△4, 508)
建物及び構築物	52, 599	50, 985	52, 312	△1, 327
機械装置及び運搬具	86, 265	99, 066	85, 365	13, 701
土地	31, 778	27, 613	27, 609	4
建設仮勘定	49, 918	39, 126	56, 180	△17, 054
その他	4, 021	4, 211	4, 045	166
2. 無形固定資産	7, 367	5, 757	7, 096	△1, 339
3. 投資その他の資産	(109, 876)	(96, 973)	(108, 151)	(△11, 178)
投資有価証券	87, 784	79, 629	86, 351	△6, 722
収用に係る未収入金	5, 363	—	5, 363	△5, 363
その他	17, 285	17, 667	16, 815	852
貸倒引当金	△557	△323	△378	55
資産合計	547, 469	546, 471	547, 431	△960

(注) 増減は当第 3 四半期末と前連結会計年度末との比較で表示しております。

ダイセル化学工業(株) (4202) 平成 20 年 3 月期 第 3 四半期財務・業績の概況

(単位：百万円)

	前年第 3 四半期 (平成18年12月31日)	当第 3 四半期 (平成19年12月31日)	前連結会計年度 (平成19年 3 月 31 日)	増 減 (△) (対平成19年 3 月 31 日)
科目	金額	金額	金額	金額
(負債の部)				
I 流動負債	(151, 582)	(149, 851)	(152, 555)	(△2, 704)
支払手形及び買掛金	56, 193	59, 980	58, 775	1, 205
短期借入金	54, 730	32, 736	41, 088	△8, 352
1 年以内に返済する長期借入金	13, 604	27, 380	18, 715	8, 665
未払法人税等	4, 188	4, 274	6, 908	△2, 634
定期修繕引当金	1, 034	983	2, 179	△1, 196
その他	21, 830	24, 495	24, 889	△394
II 固定負債	(157, 905)	(147, 272)	(152, 466)	(△5, 194)
社債	30, 000	30, 000	30, 000	—
長期借入金	74, 379	88, 359	73, 981	14, 378
退職給付引当金	8, 237	8, 169	8, 554	△385
役員退職慰労引当金	—	259	136	123
定期修繕引当金	429	498	36	462
圧縮記帳特別勘定	22, 580	2, 408	19, 309	△16, 901
その他	22, 278	17, 576	20, 448	△2, 872
負債合計	309, 487	297, 124	305, 022	△7, 898
(純資産の部)				
I 株主資本	(175, 642)	(188, 159)	(179, 627)	(8, 532)
資本金	36, 275	36, 275	36, 275	—
資本剰余金	31, 574	31, 577	31, 575	2
利益剰余金	108, 959	122, 181	112, 970	9, 211
自己株式	△1, 167	△1, 875	△1, 193	△682
II 評価・換算差額等	(35, 771)	(32, 865)	(36, 344)	(△3, 479)
その他有価証券評価差額金	34, 922	30, 560	34, 233	△3, 673
繰延ヘッジ損益	71	△65	37	△102
為替換算調整勘定	776	2, 369	2, 073	296
III 少数株主持分	26, 567	28, 322	26, 437	1, 885
純資産合計	237, 981	249, 347	242, 409	6, 938
負債純資産合計	547, 469	546, 471	547, 431	△960

(注) 増減は当第 3 四半期末と前連結会計年度末との比較で表示しております。

(2) (要約) 四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	前年第 3 四半期 自 平成18年 4 月 1 日 至 平成18年12月31日		当第 3 四半期 自 平成19年 4 月 1 日 至 平成19年12月31日		前連結会計年度 自 平成18年 4 月 1 日 至 平成19年 3 月 31 日		増 減(△) (対前年第 3 四半期)	
	金額	百分比 (%)	金額	百分比 (%)	金額	百分比 (%)	金額	増減率 (%)
I 売上高	281,426	100.0	308,450	100.0	381,422	100.0	27,024	9.6
II 売上原価	212,501	75.5	240,112	77.8	289,562	75.9	27,611	13.0
売上総利益	68,925	24.5	68,337	22.2	91,859	24.1	△588	△0.9
III 販売費及び一般管理費	41,113	14.6	42,578	13.8	55,461	14.6	1,465	3.6
営業利益	27,811	9.9	25,759	8.4	36,398	9.5	△2,052	△7.4
IV 営業外収益	2,550	0.9	2,584	0.8	4,297	1.1	34	1.3
受取利息	465		443		648		△22	
受取配当金	638		844		722		206	
その他	1,446		1,295		2,926		△151	
V 営業外費用	3,763	1.3	4,359	1.4	5,961	1.5	596	15.8
支払利息	2,258		2,583		3,050		325	
その他	1,504		1,775		2,910		271	
経常利益	26,598	9.5	23,984	7.8	34,734	9.1	△2,614	△9.8
VI 特別利益	52	0.0	18,701	6.0	4,674	1.2	18,649	—
固定資産処分益	50		127		50		77	
投資有価証券売却益	1		180		2		179	
関係会社株式売却益	—		1,493		—		1,493	
補助金収入	—		—		1,350		—	
圧縮記帳特別勘定取崩益	—		16,900		3,270		16,900	
VII 特別損失	978	0.4	18,237	5.9	6,224	1.6	17,259	—
固定資産除却損	905		1,053		1,289		148	
減損損失	73		—		138		△73	
固定資産圧縮損	—		16,900		4,621		16,900	
役員退職慰労引当金繰入額	—		198		174		198	
その他	—		85		—		85	
税金等調整前四半期(当期)純利益	25,672	9.1	24,448	7.9	33,185	8.7	△1,224	△4.8
法人税、住民税及び事業税	9,129	3.2	7,415	2.4	12,311	3.2	△1,714	△18.8
法人税等調整額	△264	△0.1	1,599	0.5	△311	△0.1	1,863	
少数株主利益	3,379	1.2	3,334	1.1	3,746	1.0	△45	△1.3
四半期(当期)純利益	13,428	4.8	12,099	3.9	17,438	4.6	△1,329	△9.9

(3) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前年第 3 四半期 自 平成18年 4 月 1 日 至 平成18年12月31日	当第 3 四半期 自 平成19年 4 月 1 日 至 平成19年12月31日	前連結会計年度 至 平成18年 4 月 1 日 至 平成19年 3 月31日
区分	金額	金額	金額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前四半期 (当期)純利益	25,672	24,448	33,185
減価償却費	17,472	21,174	23,773
受取利息及び受取配当金	△1,103	△1,288	△1,370
支払利息	2,258	2,583	3,050
固定資産除売却損益	854	926	1,239
売上債権の増減額 (増加：△)	△12,582	△3,228	△13,371
たな卸資産の増減額 (増加：△)	△14,525	△1,083	△15,126
仕入債務の増減額 (減少：△)	4,594	1,735	6,637
その他	213	△7,806	1,972
小計	22,854	37,460	39,990
利息及び配当金の受取額	1,324	2,105	1,463
利息の支払額	△2,167	△2,232	△2,962
法人税等の支払額	△12,564	△9,965	△12,957
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,446	27,368	25,534
II 投資活動によるキャッシュ・フロー			
有形固定資産の取得による支出	△42,761	△32,192	△54,572
有形固定資産の売却による収入	2,086	429	2,081
無形固定資産の取得による支出	△747	△566	△742
投資有価証券の取得による支出	△2,501	△416	△2,845
投資有価証券の売却等による収入	48	1,075	—
連結範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	—	1,990	—
貸付けによる支出	△1,434	△1,112	△1,797
貸付金の回収による収入	1,051	1,779	1,671
その他	1,049	11	2,022
投資活動によるキャッシュ・フロー	△43,208	△29,001	△54,183
III 財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入金の純増減額 (減少：△)	31,492	△8,179	17,633
長期借入による収入	42,797	35,230	51,881
長期借入金の返済による支出	△16,230	△10,668	△20,919
社債の償還による支出	△10,000	—	△10,000
自己株式の取得による支出	△69	△684	△95
自己株式の売却による収入	3	4	3
配当金の支払額	△2,895	△2,894	△2,895
少数株主への配当金の支払額	△7,624	△1,303	△8,660
財務活動によるキャッシュ・フロー	37,473	11,504	26,948
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	387	△131	890
V 現金及び現金同等物の増減額 (減少：△)	4,098	9,739	△811
VI 現金及び現金同等物の期首残高	14,350	13,958	14,350
VII 連結子会社増減による現金及び現金同等物の増減額 (減少：△)	419	149	419
VIII 現金及び現金同等物の期末残高	18,868	23,846	13,958

(4) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前年第 3 四半期 (自 平成18年 4 月 1 日 至 平成18年12月31日)

(単位：百万円)

	セルロース 事業	有機合成 事業	合成樹脂 事業	火工品 事業	その他 事業	計	消去 又は全社	連結
売上高								
(1)外部顧客に対す る売上高	47,258	69,003	120,340	40,125	4,697	281,426	—	281,426
(2)セグメント間の 内部売上高	1,616	9,768	20	—	8,807	20,213	(20,213)	—
計	48,875	78,771	120,361	40,125	13,505	301,639	(20,213)	281,426
営業費用	40,276	71,014	108,350	35,465	12,883	267,990	(14,376)	253,614
営業利益	8,599	7,757	12,010	4,660	621	33,648	(5,837)	27,811

当第 3 四半期 (自 平成19年 4 月 1 日 至 平成19年12月31日)

(単位：百万円)

	セルロース 事業	有機合成 事業	合成樹脂 事業	火工品 事業	その他 事業	計	消去 又は全社	連結
売上高								
(1)外部顧客に対す る売上高	52,992	74,329	128,827	47,366	4,933	308,450	—	308,450
(2)セグメント間の 内部売上高	2,127	12,043	16	—	9,290	23,478	(23,478)	—
計	55,120	86,373	128,843	47,366	14,224	331,929	(23,478)	308,450
営業費用	48,358	78,438	116,363	43,256	13,864	300,280	(17,589)	282,691
営業利益	6,761	7,935	12,480	4,110	360	31,648	(5,889)	25,759

前連結会計年度 (自 平成18年 4 月 1 日 至 平成19年 3 月31日)

(単位：百万円)

	セルロース 事業	有機合成 事業	合成樹脂 事業	火工品 事業	その他 事業	計	消去 又は全社	連結
売上高								
(1)外部顧客に対す る売上高	63,501	93,838	161,880	55,495	6,706	381,422	—	381,422
(2)セグメント間の 内部売上高	2,354	14,126	28	—	11,876	28,386	(28,386)	—
計	65,856	107,965	161,909	55,495	18,582	409,808	(28,386)	381,422
営業費用	54,225	96,641	147,134	49,448	17,657	365,108	(20,084)	345,023
営業利益	11,630	11,323	14,775	6,047	924	44,700	(8,302)	36,398

ダイセル化学工業(株) (4202) 平成 20 年 3 月期 第 3 四半期財務・業績の概況

〔所在地別セグメント情報〕

前年第 3 四半期 (自 平成18年 4 月 1 日 至 平成18年12月31日)

(単位：百万円)

	日本	アジア	その他	計	消去 又は全社	連結
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	214,798	48,719	17,907	281,426	—	281,426
(2) セグメント間の内部売上高	34,349	6,592	1,090	42,032	(42,032)	—
計	249,147	55,312	18,998	323,458	(42,032)	281,426
営業費用	222,696	49,025	18,087	289,809	(36,194)	253,614
営業利益	26,451	6,286	911	33,648	(5,837)	27,811

当第 3 四半期 (自 平成19年 4 月 1 日 至 平成19年12月31日)

(単位：百万円)

	日本	アジア	その他	計	消去 又は全社	連結
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	229,635	55,581	23,233	308,450	—	308,450
(2) セグメント間の内部売上高	37,951	9,244	2,818	50,014	(50,014)	—
計	267,586	64,825	26,052	358,465	(50,014)	308,450
営業費用	243,631	58,100	25,084	326,816	(44,125)	282,691
営業利益	23,955	6,725	967	31,648	(5,889)	25,759

前連結会計年度 (自 平成18年 4 月 1 日 至 平成19年 3 月31日)

(単位：百万円)

	日本	アジア	その他	計	消去 又は全社	連結
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	290,832	66,186	24,403	381,422	—	381,422
(2) セグメント間の内部売上高	46,302	9,423	1,740	57,466	(57,466)	—
計	337,134	75,609	26,144	438,888	(57,466)	381,422
営業費用	301,513	67,461	25,212	394,187	(49,164)	345,023
営業利益	35,620	8,147	932	44,700	(8,302)	36,398

〔海外売上高〕

前年第 3 四半期 (自 平成18年 4 月 1 日 至 平成18年12月31日)

(単位：百万円)

	アジア	その他	計
I. 海外売上高	67,751	31,377	99,129
II. 連結売上高			281,426
III. 連結売上高に占める海外売上高の割合 (%)	24.1	11.1	35.2

当第 3 四半期 (自 平成19年 4 月 1 日 至 平成19年12月31日)

(単位：百万円)

	アジア	その他	計
I. 海外売上高	76,998	39,356	116,355
II. 連結売上高			308,450
III. 連結売上高に占める海外売上高の割合 (%)	25.0	12.7	37.7

前連結会計年度 (自 平成18年 4 月 1 日 至 平成19年 3 月31日)

(単位：百万円)

	アジア	その他	計
I. 海外売上高	92,184	43,031	135,216
II. 連結売上高			381,422
III. 連結売上高に占める海外売上高の割合 (%)	24.2	11.3	35.5